

2014年12月16日

株式会社電通

株式会社インフォバーン

**電通とインフォバーン、共創によるイノベーションを顕彰する  
「日本のコ・クリエーション アワード 2014」ベストケーススタディを発表**

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直）と株式会社インフォバーン（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：小林 弘人／今田 素子）は、2014年に国内で実施された企業・自治体・団体などの優れたコ・クリエーション（共創）を顕彰する「日本のコ・クリエーション アワード 2014」において、“ベストケーススタディ”を選定いたしましたのでお知らせします。

本企画は、両社が2012年6月に立ち上げたオープンイノベーションのウェブメディア「cotas（コタス）」※上で行われ、一般公募に加え、審査員・コタス編集部の推薦により、2014年を代表する23のコ・クリエーション（共創）事例をノミネート。厳正なる審査を経て、先進的かつイノベティブで新しい価値づくりを促進する、次の5つの事例を2014年の“ベストケーススタディ”として決定いたしました。

**【ベストケーススタディ 2014】（50音順）**

- ・イノベーション東北（Google）
- ・nbike（エヌバイク）（株式会社ナイトペイジャーほか）
- ・神山プロジェクト（NPO 法人グリーンバレー）
- ・J-WAVE LISTENERS' POWER PROGRAM 「SOCIAL GOOD RADIO」（J-WAVE）
- ・ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014（横浜ランデヴープロジェクト実行委員会、NPO 法人スローレーベル）

受賞事例の詳細は、cotas 上で掲載している特集「日本のコ・クリエーションアワード 2014」（<http://cotas.jp/category/topics/>）でご確認ください。

※cotas（コタス）とは：オープンイノベーションをはじめとする、人々のボーダーレスな参加がもたらすモノやサービスの新しい価値づくりをテーマとするウェブメディアです。国内外の新しいイノベーション事例やビジネスモデルの紹介、実践者やオピニオンリーダーのインタビューを実施し、「オープンな社会づくり」を促進することを目標にしています。 URL: <http://cotas.jp>

**【審査概要】**

- ・ 審査期間：2014年11月26日～12月5日
- ・ 審査員：メンバーは以下の7名
  - 小林 弘人（株式会社インフォバーン 代表取締役 CEO）
  - 畔柳 一典（株式会社電通 ビジネス・クリエーション・センター 局長）
  - 紺野 登（KIRO 株式会社 代表、多摩大学大学院 教授）
  - 坂田 直樹（株式会社 Blabo 代表取締役）
  - 住友 滋（株式会社コンセラクス 代表取締役）
  - 野村 恭彦（株式会社フューチャーセッションズ 代表取締役社長）
  - 林 千晶（株式会社ロフトワーク 代表取締役）
- ・ 選考理由や審査員総評は、「cotas」（URL: <http://cotas.jp/2014/12/4311/>）をご覧ください。

以 上

**【本件に関する問い合わせ先】**

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報部  
湊、山田 TEL：03-6216-8041

**【cotasに関する問い合わせ先】**

株式会社電通 電通総研  
担当：西原 TEL：03-6216-8458  
株式会社インフォバーン cotas 編集部  
担当：高田 TEL：03-5784-6703